

Governor's Monthly Letter

地区スローガン

「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」

2022-2023年度 ガバナー 森本 芳宣

10月は「経済と地域社会の発展月間」

「米山月間」

10月24日 世界ポリオデー



「那智の滝」写真提供:中野 均(堺東RC)



イマジン
ロータリー

2022-2023年度 R I テーマ

国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3丁目34番地 けやきONE 301号室

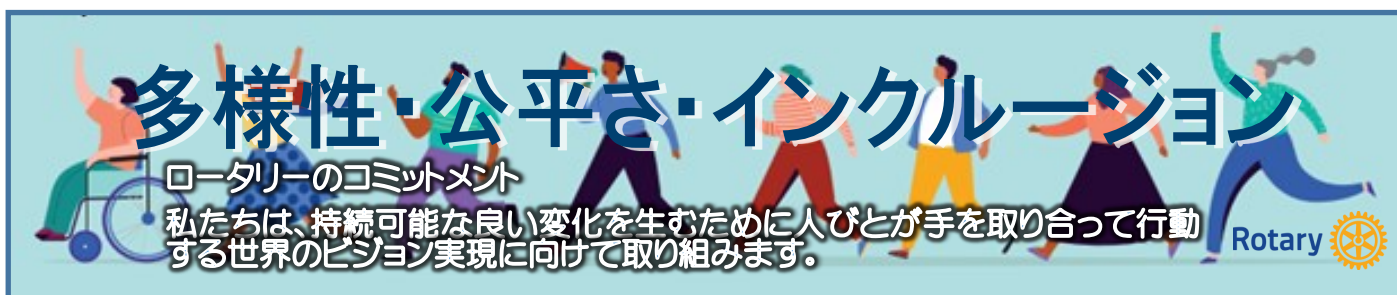
TEL 073-426-2640 FAX 073-426-2660

URL <http://rid2640g.com/morimoto>



目次

RI会長 10月のメッセージ	1	全ロータリー会員対象の2022年調査	18
10月のガバナーメッセージ	2	【地区活動報告】	
R月間 経済と地域社会の発展	3	クラブ米山委員長会議	19
米山月間	4	ローターアクト バーベキュー大会	20
世界ポリオデー 10月24日	5	インターアクト国際交流親睦会	21
地区大会のご案内	6	【クラブ活動報告】	
地区大会プログラム	7	保育園に三輪車等を寄贈 和歌山中RC	22
地区大会記念一般公開講演	8	動画「奉仕の一世紀」を制作、配信 堺泉が丘RC ...	23
ロータリーの友 俳句コンテぬとの応募	9	新会員の紹介	24
ガバナー公式訪問	10-13	訃報	25
ロータリーボイス クラブでSNSを始めよう	14	ハイライトよねやま Vol.270	26-27
【RIニュース】		コーディネーターニュース10月号	28-29
米国と欧州のポリオに関する声明	15	会員数報告(2022年8月)	30
RIとUkraine Friendsがウクライナ救援で協力	16	My Rotary 登録状況(2022年9月)	31
ポーランドRCがウクライナ難民に住居提供 ..	17	9月の行事予定	32
新しいRIブランドリソースセンター	18		



ロータリーのビジョン声明

私たちは 世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い**変化を生むために**
人びとが**手を取り合って**
行動する世界を目指しています

より大きな **インパクトをもたらす**
参加者の 基盤を広げる
参加者の積極的な かかわりを促す
適応力を高める

ロータリーの中核的価値観

親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ
Rotary 

ポリオに光を当てる

この8月、私はパキスタンを訪問し、光栄にもロータリーの最優先課題であるポリオ根絶をアピールする機会に恵まれました。それは、子どもたちをワクチンを使って、病気から守っている女性医療従事者にスポットライトを当てる貴重な機会でもありました。

世界ポリオデーを迎える今月、ロータリーの二つの実績について着目したいと思います。一つは、初めて世界的な規模でポリオ根絶活動に着手し、30年以上にわたり主導してきたこと。そして、この壮大な目標を実現可能にするパートナーシップを形成してきたことです。これは史上最も意欲的な世界保健イニシアチブの一つであり、それにより私たちは世界でポリオ症例数を99.9%以上減らしてきました。

野生型ポリオウイルスが常在しているのは世界でわずか2カ国であり、パキスタンはその一つです（もう一つは隣国アフガニスタン）。私はパキスタンでは予防接種活動に参加し、ロータリーの会員の素晴らしい活躍を目の当たりにしました。私が現地を離れて間もなく、5歳未満の子ども4,300万人を対象とする全国一斉予防接種キャンペーンが実施されました。パキスタンでは、ワクチンを投与する人の60%以上が女性であり、母親たちからの信頼を得て、子どもにワクチンを受けさせるという役割をロータリーは見事に果たしています。

この目で見たことで、ポリオ根絶への強い意志がロータリー全体に満ちあふれていることが体感でき、ロータリーにはしっかりとした戦略があることを確信しました。パキスタンのメディアが私たちの取り組みを大きく支持していることも、変化につながっています。今月、ベルリンで開催される世界保健サミットで新たな世界的誓約が発表され、緊急課題であるポリオ根絶のために、より多くのリソースが確保されます。ロータリーも自らの役割として、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が2倍額を上乗せするという誓約を最大限に生かすために、上限の5,000万ドル以上を拠出しなければなりません。

ポリオ根絶活動の現場では楽観的でいることが許される状況とはいえ、緊迫感を伴う想定外の事態も起きています。過去数カ月間で、イスラエル、イギリス、そして最近ではアメリカ・ニューヨークでポリオウイルスが新たに発見されました。脅威を感じさせるニュースですが、取るべき対策は明らかです。ワクチンは有効なものですから、感染の危険のある人たちが予防接種を受ければよいのです。

最も大切なのは、今こそ、このウイルスを根絶する必要があると決意を新たにすることです。地球上のどこかにポリオウイルスが存在する限り、どこにでも拡大する可能性があります。パキスタンでは、ポリオ根絶が実現可能であり、実現しなければならないという思いは、より強くなりました。ただしそれは効果的な戦略に全力で取り組み、必要なあらゆるリソースを投入し続けて初めて実現するのです。

コミットメント、惜しみない支援、断固とした決意があれば、ポリオ根絶は実現できるのです。

ジェニファー・ジョーンズ
2022-23年度国際ロータリー（R I）会長

R I 会長メッセージ

R I 指定記事



イマジン
ロータリー



PRESIDENT'S MESSAGE



“パキスタンでは、ポリオ根絶が実現可能であり、実現しなければならないという思いは、より強くなりました。ただし、それは効果的な戦略に全力で取り組み、必要なあらゆるリソースを投入し続けて初めて実現するのです”

ガバナー メッセージ

ガバナー 森本 芳宣

経済と地域社会の発展月間に寄せて

国際ロータリー会長 ジェニファーE.ジョーンズさんの住むウィンザー市はカナダの自動車産業の中心地ですがここ数十年は競争的な市場で工場が閉鎖されるなど、数万人が職を失いましたが、現在時間がかかりましたが農業関連事業と、医療や宇宙航空技術の分野で世界的にリードしているそうです。適応し、改革することの大事さを話されています。



私は税理士の仕事を開業して41年になります。この分野の仕事にかかわり45年以上になります。この間、和歌山市を中心に和歌山県と近隣の地域経済を見てきました。

和歌山市において40年以上前は大企業（製鉄所）の企業城下町であり、木ノ国（紀ノ国）の集積場として製材業の会社、建具製造の会社、襦袢製造もたくさんあり、メリヤス工場、縫製業の会社、化学工場と地場産業の業種も多岐にわたりありました。その後、バブル期には不動産業の会社もたくさん生まれました。

バブル崩壊後、介護保険が出来、介護福祉関連業種が増え、現在、大企業3社関連他、企業業種割合が変わりましたが、見事に地域が適応してきたと感じます。

海南市、御坊市、田辺市と私が関係してきた町で、地場産業を中心に時代の変革を乗り越えてこられたのだと感じます。

今、この地区（紀伊半島）を考えると、広大な緑の山と広い海の自然、古き時代の世界遺産、多種にわたるフルーツ生産地、温泉地と観光地の数々を生かし、高齢者の老後を過ごす福祉施設、観光リゾートエリアとして発展してほしいと願っています。



ロータリーの重点分

地域社会の経済発展

地域発展をめざすロータリーの取り組みを世界に広げるために
経済発展のために、あなたにもできることがあります

地区スローガン

「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」



10月のロータリー特別月間

経済と地域社会の発展

「経済と地域社会の発展」は、ロータリーの7つの重点分野の一つとなっています。

失業、不完全雇用、ビジネスの機会・職業研修・社会保障の欠如は、貧困を引き起こす深刻な問題です。人びとが健康で安全な生活を送るための手段の一つとなるのが「働くこと」であり、貧困を減らすには雇用機会の創出と収入源の確保が必要とされます。特に、女性、若者、貧困層の人びとのエンパワメント（社会における地位向上）は、持続可能な経済的・社会的発展のカギとなる要素です。

世界銀行によると、1日に1ドル25セント未満で生活する貧困者数は、990年に192万人でしたが、2011年には100万人にまで減少しています。貧困を減らす取り組みでは着実な成果が挙げられており、2015年にはミレニアム開発目標（MDGs）の一部が達成されています。しかし、持続可能な開発目標（SDGs）では、現在も世界に以下のような切迫したニーズがあると指摘されています。

世界各地のロータリークラブは、経済と地域社会の発展をめざす活動に取り組んでいます。事前に調査すべき点やプロジェクトの実施地によってさまざまに事情が異なることを踏まえ、取り組んでください。

地域社会のニーズを調べる

プロジェクトを始める前に、まず地域社会の「ニーズ」何が必要か」と「リソース」（何を地元で調達できるか）を確認することが大切です。地域の強みと弱みを調べ、どのようにしてニーズに取り組むのが効果的かを考えましょう。現地の歴史、文化、社会構造を念頭に入れ、地元の人や自治体・他団体と協力して徹底した地域調査を行いましょう。

憶測でニーズを決めないことが大切です。特に自分の住む地域（またはその周辺地域）である場合、既に事情を知っていると考えて、独断でニーズを判断してしまいがちです。さまざまな地元の人たちと話をし、現場の声に耳を傾けましょう。地元の人たちに参加してもらい、「自分たちの活動」であると感じてもらうことが重要です。

地域社会のニーズに応える

経済と地域社会発展のニーズがある場合、その多くは以下のいずれかのカテゴリーに当てはまるはずです。

- ・若者の失業率を下げる
- ・起業の妨げとなる要因をなくす
- ・農業・畜産業の機会を妨げる要因をなくす
- ・貧困問題に取り組むためのリソース

調査の結果、「経済と地域社会の発展」の分野のニーズがないとわかったとしても、調査は決して無駄ではありません。むしろ、不必要な活動に時間やリソースを費やさずに済み、ほかのニーズが見つかることもあるでしょう。

ロータリー補助金（www.rotary.org/ja/grants）

人道的プロジェクト、奨学金、研修といった幅広い活動を実施するため、ロータリー財団からロータリークラブと地区に提供される資金です。「地区補助金」は小規模で短期の活動に活用でき、「グローバル補助金」はロータリーの重点分野において持続可能かつ測定可能な成果をめざす大規模な国際プロジェクトに活用してください。



10月は米山月間です

日本のロータリーは海外からの留学生を支援しています

ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する、民間の奨学財団です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより、日本と世界との平和の懸け橋になる人材を育てています。



将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

米山梅吉氏(1868 - 1946)とは

東京・芝田村町生まれ。19歳で渡米、帰国後は三井銀行入行。遣米使節団の一員としてアメリカ滞在中、ダラスRC会員だった福島喜三次氏と出会い、1920年、日本で最初のロータリークラブ、東京RCを創立します。24年には日本初の信託会社、三井信託株式会社を設立し初代社長に就任。晩年は三井報恩会を通じて社会・文化事業を支援したり、私財を投じて小学校(現・青山学院初等部)を設立し、教育にも献身しました。“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”これは梅吉氏の願いでもあり、生涯そのものでした。



奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリーの奉仕の精神について学びます。奨学期間終了後は米山学友会に入会したり、「ロータリー学友」として国際ロータリーのコミュニティに参加することができます。

奨学生一人ひとりに地区内のロータリークラブが「世話クラブ」となり、世話クラブの会員が「カウンセラー」となって日常の相談役をつとめます。奨学期間中、奨学生は世話クラブで奨学金を受け取り、交流します。

2022学年度の奨学生数は898人、事業費は14億5千万円(2021-22年度決算)と、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでの累計奨学生数は22,875人(2022年7月現在)、その出身国は世界129の国と地域に及びます。



事業のシンボルマーク

重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。

外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、世界の平和を願う“心”を育てるという、事業創設の願いが込められています。手

は、そうした“心”を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>



世界ポリオデー
10月24日

#EndPolio | endpolio.org/ja



ポリオ根絶に向けて世界が一つに

10月24日、世界がひとつになってポリオ根絶を応援！

世界ポリオデーに、保健専門家やパートナー団体とともにポリオ根絶活動の現状について理解を深めましょう。皆さんの地元でも世界ポリオデーにちなんだ募金やイベントを行い、ポリオ根絶をご支援ください。

ポリオという病気

ポリオ（急性灰白髄炎）は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。

ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあり、これによって身体のマヒを引き起こす可能性があります。治療法はありませんが、安全なワクチンで予防が可能です。ロータリーとそのパートナー団体は、これまで世界中25億人以上の子どもにワクチンを投与する活動を行ってきました。

「ポリオ根絶に向けた世界的な進展は、人びとの知らないところで黙々と成し遂げられてきました」

感染リスクにさらされているのは？

世界からポリオを根絶しない限り、今後10年以内に、世界での年間発症数は20万件に上ると予想されています。ポリオの常在国はわずか2カ国ですが、ポリオの発症がどこかで起きている限り、感染の危険は世界中の子どもに及ぶこととなります。1988年以来、全世界のポリオの症例は99.9%減少しています。現在もポリオが常在する国は、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみとなっています。

活動イベントを開催する

- ・ 世界ポリオデーにあわせ、クラブ会員、友人、家族と一緒に、地元でのイベントを開催しましょう。地元メディアや自治体の関係者、地元のリーダーを招き、ロータリーについて知ってもらう機会となります。
- ・ ロータリーのポリオ根絶活動（ポリオプラス）への募金を行いましょう。ポリオプラス基金への寄付には、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団から2倍額が上乘せされます。
- ・ ロータリーの世界的コミュニティと一体となって活動していることを示すために、ポリオ根絶活動をSNSでメッセージを拡散してください。



世界ポリオデー

#EndPolio | endpolio.org/ja



2022-2023 年度
国際ロータリー第2640地区



地区大会のご案内

と き 2022年11月5日(土)・6日(日)

1日目 和歌山城ホール・ダイワロイネットホテル和歌山

2日目 ホテルグランヴィア和歌山

「行動し、実践することにより、
“ロータリーの輪”を広げよう」

国際ロータリー第2640地区

ガバナー 森本 芳宣
地区大会実行委員長 有田 佳秀
地区大会実行副委員長 明楽 修身
地区大会実行副委員長 山本 進三
地区大会幹事 太田 恵示

2022-2023年度国際ロータリー第2640地区の地区大会は、ガバナー輩出クラブの和歌山北ロータリーがホストクラブとして、また和歌山東ロータリークラブがコ・ホストクラブとして、3年ぶりに秋での二日間開催いたします。

大会1日目は、熊野本宮大社 宮司 九鬼家隆氏の講演を予定しており、その夜を飾る RI 会長代理歓迎晩餐会では、和歌山出身のサクソプレイヤー 岡なづきさんを中心とした皆さまの演奏をお楽しみいただきます。

大会2日目の午前中は、和歌山が世界に誇る企業であります株式会社 島精機製作所 代表取締役会長の島 正博氏による一般公開講演、そして午後からは、和歌山県串本町で人口衛星用ロケットの打ち上げを目指しているというこで、有人宇宙システム株式会社 常務取締役 前村孝志氏による講演を予定しています。

また大会2日目の会場入口付近において、地区内各クラブの写真を展示予定です。

有意義に過ごしていただける地区大会となるよう努めて参りますので、多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

ホストクラブ：和歌山北ロータリークラブ コ・ホストクラブ：和歌山東ロータリークラブ

講演講師

一般公開講演

〈11月6日〉10:00～
(ホテルグランヴィア和歌山)



株式会社 島精機製作所
代表取締役会長 島 正博氏

記念講演

〈11月5日〉(和歌山城ホール)



熊野本宮大社 (和歌山県神社庁長)
宮司 九鬼 家隆氏

〈11月6日〉
(ホテルグランヴィア和歌山)



有人宇宙システム株式会社
常務取締役 前村 孝志氏

記念ゴルフ大会

2022年 10月18日(火)

会場：有田東急ゴルフクラブ

〒643-0176 和歌山県有田郡有田川町大字釜中423番地12
TEL 0737-32-3313

競技方法：ダブルペリア方式

参加費用 参加登録費 ￥10,000—

※プレイ費については各自フロントにてご精算願います。

参加定員 160名 (ロータリーファミリー参加可)

※先着順にて締め切ります。

地区大会記念ゴルフ大会

実行委員長 和田 耕司 (和歌山北)

副実行委員長 山下 茂男 (和歌山北)、浅野 恭行 (和泉)

2022-2023 年度
国際ロータリー第2640地区

地区大会プログラム

2022 **11.5** (土) **6** (日)

1日目 和歌山城ホール・ダイワロイネットホテル和歌山

2日目 ホテルグランヴィア和歌山

1日目

11月5日(土)

本会議

会場:和歌山城ホール

- 13:00 登録・受付
- 13:30 開会
- 14:00 RI会長代理による講演
- 14:50 講演「魅りの熊野本宮」
熊野本宮大社 宮司(和歌山県神社庁長)
九鬼 家隆 氏
- 16:15 立法案検討会
- 17:15 閉会宣言・閉会点鐘

RI会長代理歓迎晩餐会

会場:ダイワロイネットホテル和歌山 4 F

- 17:30 登録・受付
- 18:00 開会
演奏 Nazuki's (岡なづき (Sax) 他)
- 20:30 閉会



岡 なづき (Sax)

和歌山県出身サクソプレーヤー
音楽事務所『N-Music Office』代表。
インドアーティストBapi & Aseema Pandaとコラボレー
ションを行い「Dhak Dhak」You tubeにて1,000万回再生を達
成する。
和歌山白浜アドベンチャーワールドにてオリジナルソング
アーティストに抜擢され、マリンライブ「Smiles」にて楽曲
「Smiley Kiss」が公開される。



池原 衣美 (Violin)

桐朋学園大学卒業。
全日本学生音楽コン
クール東日本大会に
おいて奨励賞受賞。
1996-97年、ロータ
リー財団国際親善受
賞学生としてドイツに
留学。



巽 玲子 (Piano)

大阪芸術大学音楽
教育学科卒業。
和歌山大学大学院
教育学研究科修了。

2日目

11月6日(日)

講演 (一般公開)

会場:ホテルグランヴィア和歌山

- 9:30 受付
- 10:00 開会
- 10:10 講演「変革する力、チャレンジする力
～愛と創造と気で挑む～」
株式会社 島精機製作所 代表取締役会長 島 正博 氏
- 11:15 謝辞並びに閉会挨拶

本会議

- 12:00 登録・受付
- 12:40 歓迎演奏 池原衣美 (Violin)・巽 玲子 (Piano)
- 13:00 開会
RI会長代理によるRI現況報告
- 14:05 記念講演「日本人は月に立てるかー
日本の宇宙開発の現状と将来」
有人宇宙システム株式会社 常務取締役 前村 孝志 氏
- 各種表彰
- 地区大会登録報告
- 16:50 閉会点鐘

呈茶席

会場:ホテルグランヴィア和歌山

- 11:00 開席
- 13:00 閉席

展示・販売

会場:ホテルグランヴィア和歌山

- 9:30 開場
- 17:00 閉場

国際ロータリー第2640地区

ガバナー : 森本 芳宣
地区大会実行委員長 : 有田 佳秀
地区大会実行副委員長 : 明楽 修身・山本 進三
地区大会幹事 : 太田 恵示

〈お問合せ先〉国際ロータリー第2640地区2022-2023年度地区大会実行委員会
〒640-8113 和歌山市広瀬通丁3丁目13番地の2 コスモ広瀬1F
和歌山北ロータリークラブ内
TEL:073-432-5260 FAX:073-488-6665
E-mail: chikutaikai22-23@rid2640g.com
地区大会幹事携帯(太田恵示): 090-8213-0408



2022-2023年度
国際ロータリー第2640地区

地区大会記念 一般公開講演

変革する力、チャレンジする力 ～愛と創造と気で挑む～

2022年 **11月6日(日)** 10時開演
9時30分 受付開始

ホテルグランヴィア和歌山6階
和歌山県和歌山市友田町5丁目18

入場無料

和歌山の市街地の半分が焦土と化した空襲で家を失い、生活をゼロから立て直すことになる。
当時8歳だった少年は畑を耕し、鳥を撃ち、魚を捕り、商売をしながら家族と必死に生き抜いた。
創意工夫を繰り返し、周囲をよく観察する姿勢がその後の発明家人生の礎となった。



株式会社 島精機製作所

代表取締役会長 **島 正博**
しま まさ ひろ

プロフィール

1937年和歌山市生まれ。県立和歌山工業高校卒業。18歳でゴム入り安全手袋を開発するなど若いころから発明の才能を発揮する。61年に島精機製作所の前身を創業。全自動手袋編み機、全自動衿編み機、ホールガーメント横編み機などを世に送り出し、アパレル業界に変革をもたらす。2017年6月に会長就任。旭日中綬章を受章。

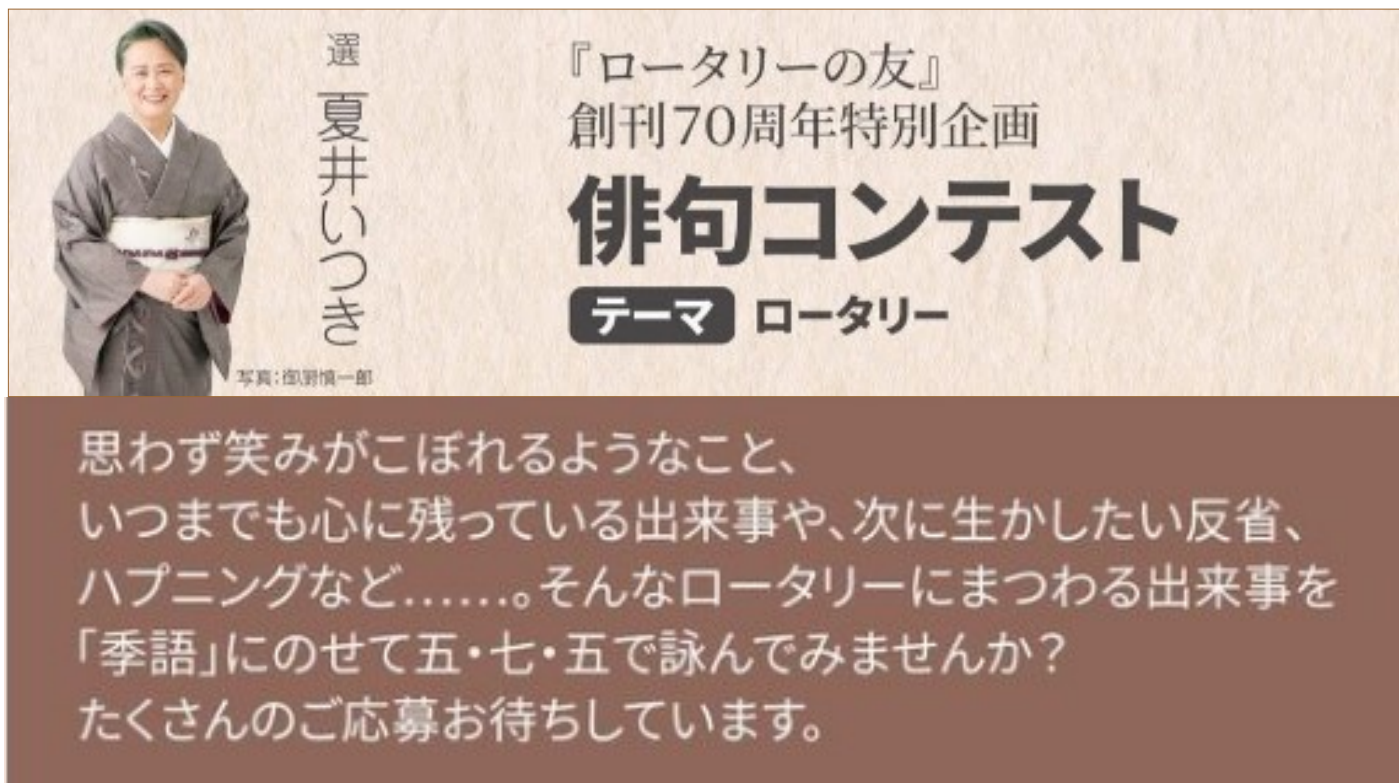
※先着400名様となりますので、ご了承下さい。

お問い合わせ先

国際ロータリー第2640地区2022-2023年度地区大会実行委員会

〒640-8113 和歌山市広瀬通丁3丁目13番地の2 コスモ広瀬1F 和歌山北ロータリークラブ内

E-mail: chikutaikai22-23@rid2640g.com



選
夏井いつき

『ロータリーの友』
創刊70周年特別企画
俳句コンテスト
テーマ ロータリー

思わず笑みがこぼれるようなこと、
いつまでも心に残っている出来事や、次に生かしたい反省、
ハプニングなど……。そんなロータリーにまつわる出来事を
「季語」にのせて五・七・五で詠んでみませんか？
たくさんのご応募お待ちしております。

俳句コンテスト応募内容

テレビでおなじみの俳人・夏井いつき先生が審査します。
結果は2023年6月号に掲載します。

募集期間

2022年9月1日～2023年2月28日

応募資格

ロータリアン、その家族、ローターアクター、インターアクター、米山奨学生
などロータリーのプログラム参加者・学友

受賞発表

『ロータリーの友』2023年6月号誌面上

注意事項

ご応募はお一人1回。3句まで

応募は、ロータリーの友 ホームページから

<https://rotary-no-tomo.jp/#tomo>

【ガバナー公式訪問】

和歌山西ロータリークラブ

2022年9月7日(水)

会長 石塚 宏介

幹事 嶋本 寛子



和歌山東南ロータリークラブ

2022年9月7日(水)

会長 寺下 能明

幹事 小林 一三



堺ロータリークラブ

2022年9月8日(木)

会長 林 豊之

幹事 木澤 憲一



堺清陵ロータリークラブ

2022年9月8日(木)

会長 河野 強

幹事 盆木 一輝



河内長野ロータリークラブ

2022年9月9日(金)

会長 石倉 保彦

幹事 工藤 敬子



【ガバナー公式訪問】

貝塚ロータリークラブ

2022年9月13日(火)

会長 山口 昭治

幹事 竹本 欣司



松原中ロータリークラブ

2022年9月14日(水)

会長 道勇 泰孝

幹事 福田 超



泉佐野ロータリークラブ

2022年9月15日(木)

会長 大工 貞晋

幹事 赤井 聡宏



泉大津ロータリークラブ

2022年9月16日(金)

会長 南出 和成

幹事 松村 泰英



KUMATORI向日葵 ロータリークラブ

2022年9月17日(土)

会長 番匠 博

幹事 中楠 真一



【ガバナー公式訪問】

関西国際空港 ロータリークラブ

2022年9月20日(火)

会長 新井 昭人

幹事 渡邊 員行



田辺東ロータリークラブ

2022年9月21日(水)

会長 岡本 博

幹事 前田 吉彦



高師浜ロータリークラブ

2022年9月22日(木)

会長 奥田 康司

幹事 下條 明



羽衣ロータリークラブ

2022年9月22日(木)

会長 岡井 信介

幹事 藤沢 直史



海南東ロータリークラブ

2022年9月26日(月)

会長 中村 俊之

幹事 千賀 知起



【ガバナー公式訪問】

有田南ロータリークラブ

2022年9月27日(火)

会長 赤田 修己

幹事 松下 瑞良



田辺はまゆうロータリークラブ

2022年9月27日(火)

会長 寺本 匡

幹事 赤堀 哲也



りんくう泉佐野ロータリークラブ

2022年9月28日(水)

会長 目 岩男

幹事 大野 智史



田辺ロータリークラブ

2022年9月29日(木)

会長 新藤 整市

幹事 橘 一徳

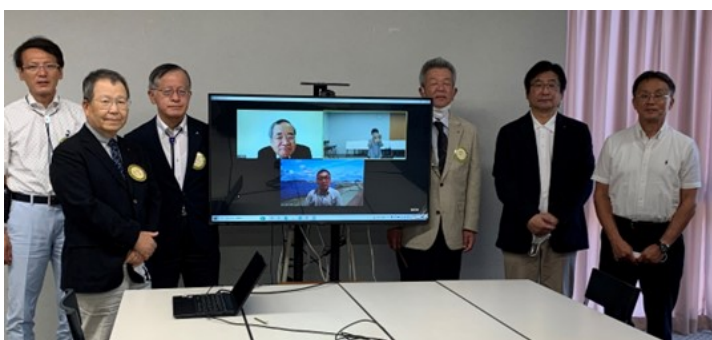


白浜ロータリークラブ

2022年9月30日(金)

会長 久保木 弘

幹事 藤田 正夫





ロータリーボイス

世界で行動する人びとの体験談とストーリー

クラブでSNSを始めよう

SNSを使えばクラブの情報を簡単に発信できるとは聞いているけれど、うまく使いこなせない、目的がよくわからないと感じている方もいるでしょう。SNS活用の目的はごくシンプルです。それは「**つながりを築く**」ことです。SNSを駆使してクラブの奉仕活動を紹介し、クラブの存在感をアピールすることで、地域社会とのつながりが築かれます。以下に、クラブでSNSをうまく活用するためのヒントをご紹介します。



使うSNSの種類を選ぶ。 SNSの種類は多種多様で、どれを使えばよいのか戸惑ってしまうかもしれません。まずは一つだけ選び、そこから徐々に広げていくのが賢明です。ユーザーの多いFacebookから始めることをお勧めします。

担当者を決める。 投稿するコンテンツをつくる最初のステップは、写真や動画を撮ることです。クラブの行事や奉仕活動で写真を撮影する担当者を決めておきましょう。また、SNSへの投稿を行う担当者も決めましょう。

定期的に投稿する。 投稿の頻度がどうであれ（毎日、毎週、毎月など）、定期的に投稿することを目標にしてください。新しいフォロワーを獲得するには、定期的な投稿が肝心です。

シャッターチャンスを見逃さない。 団体写真やポーズを取った写真ではなく、活動している人びとの様子を写真に捉えてください。会員が汗を流して活動したり、人びとにプレゼントを手渡したり、笑顔で交流したりしている様子を写真に収め、SNSでシェアしましょう。

活動の成果を紹介する。 イベント、奉仕活動、募金活動を計画する際には、あとでその様子をどのようにSNSで紹介するのも考えましょう。ニーズや問題にどのように取り組んだのか、結果としてどのような成果があったのかを、力強い写真・動画と文章で伝えてください。投稿を見た人に何を知ってもらいたいのかを意識することが大切です。

協力団体や参加者との活動を紹介する。 活動に参加してくれた人たちや協力団体との活動を紹介することで、ロータリー外のフォロワーを増やしたり、参加への関心を高めたりできます。投稿を見るのは会員だけとは限らないため、ロータリー用語（PETS、RYLAなど）の使用は避けましょう。投稿を見て入会に関心を持つ人がいる可能性があることを常に念頭に置くことが大切です。

【RIニュース】



米国と欧州での最近のポリオ検出 に関するロータリーの声明

最近、米国ニューヨーク州でワクチン由来ポリオウイルス2型が検出され、英国ロンドンで収集された複数の環境サンプルからウイルス分離株が確認されたことは、ポリオが世界のどこかに存在する限り、どの国においても脅威であることを改めて思い知らせるものとなりました。これらの事例は、ポリオをはじめワクチンで予防可能なほかの疾病から身を守る唯一の方法としての予防接種の重要性、および予防接種を奨励するために地域社会で引き続き行うべき活動の重要性を明らかに示しています。世界で野生型ポリオウイルスの症例数がゼロに近づく中、ポリオがなくなった地域も含め、あらゆる形態のウイルスを追跡することの重要性が高まっています。

全人口におけるワクチン接種率が高い米国では、まひを引き起こすポリオのリスクは引き続き低いと考えられています。子どもが十分なワクチンを受けていれば、ポリオによってまひを発症するリスクはごくわずかです。米国疾病対策センター（CDC）によると、生後24カ月の子どもの92.6%がポリオ予防接種を受けており、これは世界保健機関（WHO）の目標である95%をわずかに下回るレベルです。

世界からポリオが根絶されるまで、ポリオから身を守るために各国が取ることのできる最善の策は、高い予防接種率と徹底的な疾病サーベイランスを維持すること、および、ポリオ発生に備えることでウイルスの再流入や再発生のリスクと結果を最小限に抑えることです。

現在、世界でポリオウイルスの伝播を永久に食い止めるチャンスが訪れています。とはいえ、寄付者や各国政府を含め、あらゆる関係者が世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）の2022-

2026戦略を全面的に支持することで、ポリオ根絶への決意を新たにしなければなりません。

この戦略は、野生型ポリオを根絶し、変異型ポリオウイルス（cVDPV）の発生をなくすために、各国政府からのさらなる説明責任と当事者意識を促しながら、緊急時の態勢を整えることに焦点を当てています。ロータリーは、140万人以上の会員を擁する世界的な奉仕団体であり、30年以上にわたり、世界的なポリオ根絶活動の中心的存在となってきました。ロータリーは毎年、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団との資金提携を通じて、世界的なポリオ根絶の取り組みに1億5,000万ドルを拠出することに力を注いでいます。ポリオを永久になくすため、ロータリー会員はこれまでにボランティアとして多くの時間を捧げ、26億ドル以上の資金を投じてきました。また、パートナー団体とともに世界中の地域社会に働きかけ、毎年4億人以上の子どもに予防接種を行うことで、高いワクチン接種率を促しています。ロータリーやパートナー団体による予防接種活動がなかったら、今日、さらに2,000万人以上がまひを患っていた可能性があります。

今こそ全力で行動するときです。新型経口ポリオワクチン2型（nOPV2）の使用が開始されており、このワクチンは伝播型ワクチン由来ポリオウイルスの発生を抑える遺伝子的安定性が従来よりも高いものです。政治的・資金的なコミットメントが維持されれば、いかなる子どももポリオによるまひに苦しむことのない世界を実現できると、GPEIは確信しています。

【RIニュース】

ロータリーとUkraine Friendsがウクライナでの救援活動で協力

国際ロータリーと米国を本拠とする非営利団体のUkraine Friendsは、ロシアとの戦争で被害を受けたウクライナの人びとを支援するため、リソースの提供や、インパクトの大きなプロジェクトへの資金提供で協力することで同意しました。

ジョン・ヒューコRI事務総長とUkraine FriendsのCEOであるブロック D. ビアマン氏が2022年7月、覚書に署名し、プロジェクトでの協力、資金提供や現物寄贈、合同での活動の優先化の可能性を模索するために協働することで同意しました。

「ロータリーはUkraine Friendsとのパートナーシップで参加者基盤の拡大ができることを嬉しく感じています」とヒューコ事務総長は話します。「ウクライナでの危機の最中にロータリーの寛大さが示されているだけでなく、同国での会員数が増え、必要不可欠な奉仕を提供するための新たな機会が生まれています」

Ukraine Friendsとのパートナーシップにより、今後数カ月、数年かけて生活を立て直し、復興を目指さなければならないウクライナの人びとのために、もっと多くのことができる」と事務総長は話します。

ロータリーは、ロシアによるウクライナ侵攻が始まって以来、272件(890万ドル)の災害救援補助金を授与しました。これらの補助金は29カ国におけるクラブのプロジェクトを対象とし、戦争の被害を受けた人たちをウクライナ内外で支援してきました。世界中のロータリー／ローターアクトクラブは、ウクライナのクラブに直接、何百万ドルを寄付しており、水、食糧、シェルター、薬、衣服などが提供されています。

ニューヨークを拠点とするWorldwide Friends Foundationが現在注力しているUkraine Friendsは、戦争で被災した人たちの支援を目的にウクライナで活動しています。これには、一時的な住居の確保や、医療機器や医療品、けがをした市民の治療に必要な救急車の提供などが含まれます。

ロータリーとUkraine Friendsは最初の合同プロジェクトに同意しています。これは、病院やほかの団体に約50台の救急車を提供するものです。両団体はそれぞれ30万ドルを救急車のために寄付し、ウクライナとスロバキアのロータリー地区がUkraine Friendsと協力しながら救急車を手配します。

ロータリーとUkraine Friendsの協力によって「その影響が倍増され、支援したい人々へのインパクトもより大きくなる」とビアマン氏は話します。「支援を最も必要としている人々への人道的支援と医療支援によって、ウクライナの人びとが支援を必要とする時に手を差し伸べることができます」



7月に覚書に署名したジョン・ヒューコ国際ロータリー事務総長（左）と、ブロック D. ビアマン・Ukraine FriendsのCEO。この覚書は、ウクライナでのニーズに対応するための両団体の協力を規定したものです。



【RIニュース】



2022年3月、ロシアがウクライナへの侵攻を開始した直後のこと、ポーランド東部の都市ルブリンから30km少々離れた町ヴォイチェフの家に、難民が続々と集まりました。

Lublin-Centrum-Maria Curie-Skłodowskaロータリークラブの会員であるヤヌス・ミラノフスキーさんと妻のカタジナ・スミギン＝ミラノフスカさんは、2021年にこの家を購入した当初、これを中毒に苦しむ10代の若者のための施設にしようと考えていました。しかし、ウクライナからの何千人もの難民が滞在場所を必要としているため、夫妻は代わりに彼らにこの家を開放しました。

ナタリア・プロクホールさんは3月上旬にポーランドに到着しました。彼女は、救援機関の支援を受けた聴覚障害者のウクライナ人17人のうちの一人で、ほかの難民たち(合計29人)と一緒にこの家に住むことになりました。

ウクライナ東部のルハンスク地方で育ったプロクホールさんが家を離れるのは今回が初めてではありません。2014年にロシア軍がウクライナのドンバス地方の一部を占領した際、彼女と母親はキーウ(キエフ)に逃れました。「家族が再び命をかけて戦わなければならないことが信じられませんでした」と彼女は言います。「それは、恐ろしい夢のようでした」

プロクホールさんは、家族が無事であることに感謝していますが、聴覚障害者が仕事を見つけるのは難しいことが多いため、すぐにウクライナに戻れることを願っています。

この避難民の家では、訓練を受けた通訳がウクライナの手話からポーランドの手話に通訳することもあります。通訳がないときは、オンライン翻訳機を使用します。「よく話をするんですよ」とミラノフスキーさんは話します。

4月には、難民とロータリー会員がこの家に集まり、イースターを祝いました。手話で話しながら、食べ物やその他のお祝いの品をテーブルに並べました。ポーランドを表す赤と白、ウクライナを表す青と黄色に色付けされた卵が飾られました。ウクライナにいる親戚には食料も水も電気もない人もいるため、それらの人たちの連帯感から、伝統的なイースターのお祝いに比べると控えめなお祝いにしました。



難民が到着する前に、ロータリークラブ会員がこの家を整え、それから資金集めと日々の運営を続けています。また、同クラブは、国境を越えて援助を送り、ロータリー第7870地区(米国ニューハンプシャー州とバーモント州)と協力して、31万7千ドル相当の医療器具をウクライナの野戦病院に寄贈しました。

【RIニュース】

新しくなったブランドリソースセンターをクラブのPRにお役立てください

クラブの活動や地域社会への貢献について情報を発信する際には、ロータリーロゴ入りの推進用資料を活用してロータリーの認知拡大につなげましょう。新しくなったブランドリソースセンターには、そのための資料や素材が豊富にそろっています。

新しいブランドリソースセンターの特徴

- すっきりと見やすくなったレイアウト
- 読み込み時間が速くなった新しいプラットフォーム
- 使いやすいナビゲーション
- 改善された検索機能
- 新しいブランドリソースセンターは、My ROTARYへのログインなしでご利用いただけます。

Rotary  ブランドリソースセンター
<https://brandcenter.rotary.org/ja-jp/>

新しいブランドリソースセンターの活用

写真、動画、テンプレートなど、ブランドリソースセンターにあるリソースを活用してクラブのウェブサイトとソーシャルメディアを更新し、ロータリー会員の活動を紹介します。

改良が加えられたテンプレートを使って、クラブ名入りロゴ、カスタマイズした広告、ソーシャルメディア用グラフィック、パンフレットなどを作ることができます。挿入する写真は、センター内の写真ライブラリから選ぶか、独自の写真をアップロードできます。また、写真のクropp、テキストと見出しの追加、自宅印刷かプロ印刷かの選択も簡単にできます。

さらに、ブランドリソースセンターには「世界を変える行動人」、ロータリーブランドの要素、ロータリーの推進に関する最新のガイドラインも掲載されています。「世界を変える行動人」のメッセージ作成、ポリオ根絶、活動分野などに関するリソースをダウンロードして、地域社会でのロータリーの推進にお役立てください。

全RC会員対象の2022年調査を10月に実施

全ロータリー会員を対象とした2022年調査は、会員としての皆さまの経験、ロータリーでよいこと、よくないこと、会員として期待することなど、ご意見やご感想をお聞かせいただくことを目的としております。

この調査は、有効なEメールアドレスが国際ロータリーに登録されているすべてのロータリークラブ会員とローターアクトクラブ会員に送付されます。調査をお受け取りいただけるよう、10月1日までにMy ROTARYにログインしてご自分のEメールアドレスを追加または更新してください。

調査回答用のEメールは10月初旬に発信される予定です。ご協力をお願いします。

【地区活動報告】

米山月間に向けて「クラブ米山委員長会議」

地区米山奨学委員長 玉井 洋司

地区米山奨学委員会は、9月18日、和歌山JAビルにおいて10月の米山月間に向けて、クラブ米山委員長会議を開催しました。当日は森本ガバナー、谷エレクト、野村ノミニーをはじめ地区役員、米山奨学委員会委員を含む総勢 約50名の参加をいただきました。米山奨学会からは、今月より、2640地区から選出理事のバスターガバナーの檜畑理事の参加賜りました。



クラブ米山奨学委員長の皆様には、米山事業が日本のロータリーの33地区が独自で実施する事業であること、このプログラムは戦後の「平和日本」世界に伝え、国際親善と平和に寄与する活動であることを参加者の皆様にお伝えし、米山奨学活動をロータリアンの皆様に理解していただくためのセミナーを開きました。

ロータリアンの皆様方には米山奨学活動の趣旨をご理解の上、この機会に米山特別寄付にご協力賜りますようお願いいたします。なお、詳しい事業の内容はクラブより配布される米山豆辞典に記載されています。



<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/pdf-data/2022mame.pdf>

【地区活動報告】

アクトの日「バーベキュー大会」開く



地区ローターアクト

地区ローターアクトは、9月4日(日)に和歌山シーサイドガーデン BBQ テラスにて、アクトの日イベントして、バーベキュー及びアクティビティを行いました。

当日は天候にも恵まれ、心地よい環境の中、各クラブの状況や活動方針、会員増強へ向けた施策、今後の地区の活動内容、皆様の私生活や仕事内容等、様々な話で盛り上がりながら、楽しいバーベキューの時間を過ごしました。

また、午後は、浜の宮海水浴場のビーチにて、チーム分けを行った上で、ドッチボール、ビーチフラッグス等の対抗戦を行い、残暑厳しい中、楽しい時間を過ごしました。

この1日を通じて、地区RACとしての結束は確実に強くなり、今後の活動の質を上げるような、素晴らしい機会であったと思います。

ホストクラブ和歌山東南RAC土屋一輝には、企画から当日の準備と、大変お世話になりました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。



【地区活動報告】

インターアクト国際交流親睦会



インターローターアクト

9月25日(日)午前10時～12時30分、帝塚山学院中学校高等学校において、インターアクトクラブ国際交流親睦会を開催いたしました。国際交流親睦会は名前の通り、大阪及び近郊在住の外国人の高校生、大学生、大学院生、社会人の皆さんと、インターアクターである中高生が交流するイベントです。

今回は、米山学友小委員長 新本 憲一氏(堺おおいずみRC)の協力のもと、米山奨学生及び米山学友20名に出席いただくとともに、また、各校留学生並びにAFS7名にも参加いただきました。インターアクターは、総勢70名が参加されました。

ベトナム、ミャンマー、韓国、中国、台湾、香港等々、様々な国から来たみなさんと、少人数のグループになって、お互いの文化風習の違いや共通する点など、楽しく親しくかなり活発に、それぞれのグループで会話が弾んでおりました。今回の国際交流親睦会によって、学校や地域等の枠を越えた「交流」というインターアクトならではの機会を得ることができ、とても有意義な一日を過ごされたのではないかと感じました。

なお、今回の国際交流親睦会も、7月の年次大会と同様に、コロナ対策のため規模を縮小し、午前のみで開催となり、参加者みなさんにはお弁当をお渡しする形式といたしました。

今回の国際交流親睦会をもとに、今後、地区内のインターアクターと、米山奨学生、米山学友、AFSのみなさんが、もっと交流を深めていければよいと感じました。

本日の国際交流親睦会の開催にあたり、ご尽力いただきました帝塚山学院中学校高等学校江口校長先生を始め顧問の先生方、地区米山学友小委員会の新本委員長、各ロータリークラブ、インターアクト委員の方々、そして参加してくれた生徒の皆さん、各校の顧問の先生方に深く感謝申し上げます。

【写真提供】 地区幹事 濱田 雅嘉



【クラブ活動報告】

「あすなろ保育園」に三輪車3台と物置1台を寄贈

和歌山中ロータリークラブ

和歌山中ロータリークラブ(会長 宮本 嘉久)は、和歌山市の日本赤十字社和歌山医療センター内の「あすなろ保育園」に三輪車3台と物置1台を寄贈しました。

社会奉仕活動として、地域社会に役立つ活動を計画。あすなろ保育園では、園庭で遊ぶおもちゃが少なく、また、収納場所がなく、野ざらしになって困っていることから、今回の支援品を寄贈しました。



同クラブでは、このほか、和歌山県庁正面玄関の花壇植替え奉仕として、四季折々の花を毎年、植え替え作業を行っています。また、和歌山西地区 警察官友の会への活動支援、国際奉仕活動として、フィリピンにおけるデイケアセンター保育園建設プロジェクトを30年以上取り組んでいるほか、2005年からは、フィリピン4年制大学における大学奨学生プロジェクトも行っています。



【クラブ活動報告】

歴史教材 国際ロータリー物語「奉仕の一世紀」

講談動画を制作 YouTube公開

堺泉が丘ロータリークラブ

堺泉が丘RCは、創立35周年記念事業として歴史教材 国際ロータリー物語「奉仕の一世紀」の講談動画を制作。YouTubeに公開配信しました。

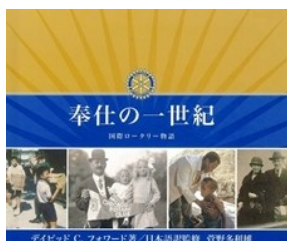
収録全19話で1話約30分(20分～29分) 全編約8時間。講談師の玉田玉秀斎師匠が国際ロータリークラブより刊行された100周年記念誌「奉仕の一世紀」を基に講談。ロータリーの歴史を写真を交え、分かり易く語ってくれています。

ロータリーを知るための貴重な素晴らしい動画教材です。是非、ご覧ください。



- 第1話 ロータリークラブ誕生
- 第2話 ロータリーの伝統
- 第3話 ロータリー全米へ
- 第4話 世界に広がるロータリーの奉仕の心
- 第5話 ビッグジムの大冒険
- 第6話 提案者アーチクランフの生い立ち
- 第7話 アーチクランフとロータリー財団
- 第8話 ロータリークラブの試練
- 第9話 クラブにおけるロータリアン
- 第10話 ロータリークラブの社会奉仕

- 第11話 社会奉仕と職業奉仕
- 第12話 世界社会奉仕
- 第13話 ロータリーの青少年奉仕
- 第14話 ロータリーの女性たち
- 第15話 寛容のこころ～平和をつくるロータリー～
- 第16話 ユネスコ・国連創立から世界人権宣言へ
- 第17話 ポリオプラス～ロータリーの献身～
- 第18話 第1回ロータリー国際理解と平和賞を受賞 岩村昇博士
- 第19話 (最終話) 国際ロータリー講談とこの先の未来へ



講談師玉田玉秀斎師匠による
国際ロータリー物語「奉仕の一世紀」誌の講談全19話

1話 約30分(20分～29分) スマホでクリック ➡



<https://www.youtube.com/channel/UCum7XitOVIwMwI3kzpEBj8g>

新会員の紹介

	クラブ名	高石ロータリークラブ		クラブ名	大阪狭山ロータリークラブ
	氏名	こばやし しょうすけ 小林 章介		氏名	たなか しょうぞう 田中 正三
	職業分類	包装資材		職業分類	医師
	生年月日	1943年1月1日		生年月日	1938年1月18日
	入会年月日	2022年8月1日		入会年月日	2022年7月1日
	クラブ名	田辺ロータリークラブ		クラブ名	和歌山ロータリークラブ
	氏名	きのした のりお 木下 智雄		氏名	みやざき じゅん 宮崎 純
	職業分類	電気工事業		職業分類	住宅製造販売
	生年月日	1975年4月14日		生年月日	1982年3月7日
	入会年月日	2022年8月18日		入会年月日	2022年8月2日

奉仕と友情の輪を広げよう

ロータリークラブの魅力は、職業やビジネスで活躍する会員と出会い、いっしょにリーダーシップを発揮しながら、地元のために活動できることです。例会で情報を学んだり、アイデアを持ち寄って奉仕プロジェクトを計画したり、楽しく活動する中で生涯にわたる友情が育まれるでしょう。以下をはじめ、さまざまな方法でクラブに積極的に参加してみましょう。

新会員がクラブになじむ15の方法

- ・ 「ロータリー財団参照ガイド」と「奉仕と友情の輪を広げよう」を読む
- ・ 毎週、まだよく知り合っていない会員2人に話しかける
- ・ メンターと定期的に会う
- ・ 新会員の研修会や勉強会に出席する
- ・ クラブ理事会にオブザーバー出席する
- ・ 地区行事に出席する（地区大会など）
- ・ My ROTARYのアカウントをつくる
- ・ 奉仕プロジェクトに参加する
- ・ 委員会に参加する
- ・ 例会で卓話をする
- ・ ラーニングセンターを利用する
- ・ クラブのウェブサイトや資料を読む
- ・ 友人を例会に招く
- ・ ローターリーのウェブサイトを見る
- ・ ローターリーを楽しむ！

ロータリークラブへの入会は、職業人や市民リーダーの世界的ネットワークの一員となること。ロータリーの会員は、クラブの枠を超えて海外の会員と交流したり、リソースを寄せあって国際奉仕活動も行っています。

ト 言 幸 反

故人の功績を称え 謹んでお悔やみ申し上げます

和歌山東ロータリークラブ



こまい のりひこ
駒井 則彦 様

2022年8月2日 逝去

在籍期間 36年8ヵ月
職業分類 名誉会員
表彰 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー②
米山功労者②

粉河ロータリークラブ



うへだ じゅんじ
植田 淳司 様

2022年9月5日 逝去

在籍期間 12年
職業分類 保険代理業
表彰 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

堺東ロータリークラブ



えぐち まさよし
江口 祇董 様

2022年8月17日 逝去

在籍期間 33年9ヵ月
職業分類 結婚式場
表彰 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー③
米山功労者⑤



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 270

2022年9月13日
発行

1. 理事会と評議員会をハイブリッド形式で開催

8月23日に第35回理事会を対面とZOOMのハイブリッド形式で開催しました。第34回理事会は対面開催でしたが、昨今の感染者増加の状況を鑑み、今回はハイブリッド形式となりました。当日は、小沢一彦名誉理事長/役職理事候補者指名委員長と、全国から17人の理事、2人の監事が対面出席、オンラインの出席が14人で、計34人の出席となりました。若林紀男理事長が議長として進行役を務め、第1号～第9号の全ての議案につき、原案通り承認可決されました。

【第35回理事会の主な議案】

評議員後任候補者/理事・監事候補者/奨学金給与規定一部改定/2021年度事業報告/2021年度計算書類/2022年度収支予算書一部修正/2022年度専門委員選任 ほか

また、9月12日には第14回定時評議員会を同じく対面とZOOMのハイブリッド形式で開催しました。昨年9月の定時評議員会は新型コロナウイルスの影響により主にオンラインでの開催となりましたが、今回はハイブリッド形式での

開催となりました。当日は、全国から評議員12人、役職理事7人と監事1人が会場参加、16人の評議員と監事1人がオンライン参加しました。定款により、評議員会の議長は、出席評議員の中から選ばれることになっており、第2580地区の上山昭治評議員が議長に選出されました。

上山議長の進行で、報告事項として、①理事会決議報告 ②職務執行の状況報告③2021年度事業報告が資料に基づき説明され、続いて理事会から上程された「後任評議員の選任」「理事・監事の選任」「2021年度計算書類承認」など6議案が諮られ、全て原案通り承認可決されました。

評議員会での理事選任を受けて、同日付で第36回理事会書面決議が成立し、以下の役職理事が選定されました。

理事長：若林紀男氏(2660)

副理事長：滝澤功治氏(2680) 相澤光春氏(2780)

常務理事：井原 實氏(2770) 駒井英基氏(2740)

常務理事：神野重行氏(2760) 田中久夫氏(2840)

2. ジャパンフェスティバルで米山をPR!

8月20日、21日、モンゴルにおける日本関連最大イベント、ジャパンフェスティバルモンゴル(JAPAN FESTIVAL IN MONGOLIA 2022)が国立遊園地のホワイトロックセンターで開催され、モンゴル米山学友会会長のウドワル・セデバザルさん(2010-12/下野上三川RC)をはじめとする13人の米山学友がブースを出展し、米山奨学金や学友会についてPRをしました。また、トブ県バヤンデルゲル郡にある学生寮に図書を寄贈する「図書館プロジェクト」のために本の寄付を募ったところ、多くの方が本を寄付してくださったとのことでした。

2022年は日モンゴル外交関係樹立50周年に

あたり、モンゴル日本センターとJUGAMO(モンゴル帰国留学生の会)の協力の下、記念事業として様々な文化イベントが開催されています。



3. まもなく米山月間資料が届きます (9/21 発送)

10 月はいよいよ米山月間です。今年も米山月間用資料を全国の皆さまへお届けします。

毎年恒例の『豆辞典』は、米山記念奨学事業についての情報がほぼ網羅されている小冊子。会員数分お送りしますので、1 人一冊お手元にお持ちください。豆辞典を使って米山奨学事業を説明するためのパワーポイントは、9 月中旬に当会 HP で公開します。そのほか「クラブ米山記念奨学委員長の手引き（寄付マニュアル合

冊）」「2021 年度事業報告書」「2021 年度決算報告」を送付します。追加資料のお申し込みは、同封の「追加資料申込書」に記入の上、お送りください。



オリジナルネクタイ&スカーフ
頒布します
限定ネクタイ&スカーフの頒布
チラシを同封しています！

4. 寄付金速報 — 10 月は米山月間です —



8 月までの寄付金は、前年同期と比べて 0.9% 増（普通寄付金：0.6% 減、特別寄付金：3.9% 増）で、約 250 万円の増加とな

りました。ここ数年での会員数全体の減少により、当会の普通寄付は減少傾向にあります。少しづつ状況が落ち着くにつれて、対面での例会開催など、これまでの日常が戻ることを期待しています。1 年に 1 度の米山月間、今月もよろしく願いいたします。

5. スリランカの未来へつなぐ

8 月 10 日、国際ロータリー第 2620 地区米山学友会会長の青山チャリットさん（2006-08 / 静岡日本平 RC）が、同学友会を代表して母国スリランカ北部のアヌラダプラ・ヒドーガマにあるマダワラガマ・カレッジ小学校を訪問し、日本円で約 15 万円分の文房具を寄付しました。

同学友会にとって 3 度目となる教育支援ボランティアの活動先となったスリランカは今、歴史的な経済危機に直面しており、地方には経済的な理由から必要な文房具などを購入出来ない子供たちがたくさんいるそうです。そこで、スリランカ北部地方にある、生徒数 155 人の小学校の子供たちのために文房具を届けることにし



ました。ガソリン不足により現地までの道のりは非常に大変だったそうですが、喜んでいる子供たちの笑顔を見たら、それまでの苦労も吹き飛んだとのことでした。

青山チャリット会長は、「我々学友会にできることは限られていますが、その中でも小学校の子供たちに文房具を手渡すことができました。しかしスリランカには、医療機器の不足など、困っている子供たちがまだまだたくさんいます。今後もロータリアンの方々にご支援とご協力をいただきながら、可能な限りの支援をしていきたいと思います」と述べました。



世界ポリオデー(ジャパン)ポータルサイトの活用お願い

第2地域 コーディネーター補佐

桑澤 一郎(茅野RC)

「今年のポリオデーは、日本全国(ZONE1A,2,3)で各クラブや地区が一斉にイベントや活動を行うことで、ファンレイジングと公共イメージ向上に繋げたい」という佐藤RI理事の強い思いを受け、RRFC、EPNC、RC、RPICが協力して、地区への協力依頼と広報を行うことになりました。



その一環として「WorldPolioDayJAPAN」というポータルサイトを6月に立ち上げ、ここを通じてポリオに関する必要な情報やクラブ、地区同士の情報共有の場を提供しています。サイト内にあるコンテンツ(内容)は、「このサイトを見ればポリオについての理解や情報提供、共有ができる」という目的で、

- ①ポリオを「理解する」ための資料
- ②ポリオの「現状を知る」ための資料
- ③ポリオのことを「クラブ会員や関係者に説明する」ための各種資料
- ④クラブや地区での「活動計画を共有する」ための情報掲示
- ⑤「寄付を促す」ための情報提供
- ⑥フォトコンテストの案内
- ⑦ロゴの使い方ガイド

を内容として作成してあります。

既に今年のポリオデーは日が迫っておりますので、地区ガバナーや地区委員長、クラブ会長などに広くこのサイトを広報していただき、できるだけ多くのクラブや地区が世界ポリオデーにご参画いただくことはもちろんですが、次年度も同様の取り組みが予定されておりますので、次年度のためにも今から周知をお願いするものであります。

【World PolioDay JAPAN】 世界ポリオデー(ジャパン)ポータルサイト

<https://www.endpoliorotary.club/home>



世界ポリオデーは10月24日(月)です。

～ストーリーテリングの力～

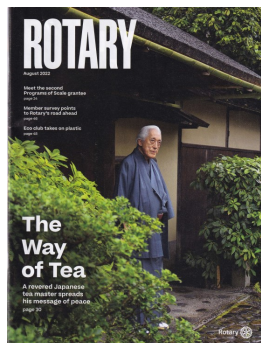
第2地域 公共イメージコーディネーター

服部 陽子(東京広尾RC)



「ビジョン声明が達成され、世界中の人びとがみんな笑顔で幸せになること」それは私たちロータリーが実現しなければならない大きな夢です。そのためには外に向けてロータリーを発信し、理解者を増やし、世界でよいことをする仲間の輪を広げていかなければなりません。それには私たち自身の感動の体験を語るストーリーテリングが効果的だと言われています。RPICになって公共イメージ向上について勉強した時、いいストーリーテリングが相手の心へのインスピレーションとなり、相手に行動を起こさせるパワーとなるのだと聞きました。それは一体どんなストーリーなのだろうか?と常日頃考えていた私に、ストーリーテリングとは何かを実感できる機会が訪れました。

それは8月号の雑誌「ROTARY」を手にした時です。表紙を飾っていたのは、裏千家の前家元、元RI理事、京都ロータリークラブ会員の千玄室氏のお写真でした。優しさと厳しさを兼ね備えた深い眼差し、和服で日本の緑の中に佇む凛としたそのお姿は、ご自身が歩まれてきた99年の人生を物語るインスピレーションそのもので、私はしばらくその表紙に見入っておりました。そして中を開くと、「PEACE THROUGH A BOWL OF TEA」と題した記事があり、ご自身の第二次世界大戦の特攻隊での体験や、茶道、そしてロータリアンとしての人生について、11ページに亘って書かれていました。



「戦友から託された命のためにも、私は忍耐強く、よく生き、長生きして、自分の運命を全うしなければならない。」と語られ、茶道とロータリーを通じて世界平和を訴えて生きる人生に大きな感動と感銘を受けました。この記事を読んだ世界中のロータリアンが読んでいたのだ!と思うと日本人としての誇りさえ感じました。

「戦友から託された命のためにも、私は忍耐強く、よく生き、長生きして、自分の運命を全うしなければならない。」と語られ、茶道とロータリーを通じて世界平和を訴えて生きる人生に大きな感動と感銘を受けました。この記事を読んだ世界中のロータリアンが読んでいたのだ!と思うと日本人としての誇りさえ感じました。

翌月9月号の「ロータリーの友」でこの記事を読まれた方は多いと思います。この記事は間違いなく世界中のロータリアンから見た日本のロータリアンのイメージを大きく向上するものであり、ストーリーテリングの真髄そのものであったと言えます。私自身この記事を読んで勇気と希望をいただき、「ロータリアンであってよかった。自分もこれからの人生をよく生きていかなければならない。」という思いを強くいたしました。

【次ページへ】

ウクライナ支援への感謝とご報告

第1地域 財団地域コーディネーター

飯村 慎一(宇都宮90 RC)

2022年6月5日、ヒューストン国際大会が3年振りで開催され、コロナウイルス感染の影響がある中、日本からは約500名弱の方が参加され、米国、フィリピンに次いで多い参加数でした。開会式では、恒例の国旗入場が行われましたが、ウクライナ国旗が入場するや否や、会員が総立ちとなり、会場は割れんばかりの拍手が鳴り止まず、又、その旗手は声援に応じて暫く壇上で旗を振り続けておりました。ウクライナ戦争後、世界のロータリアンが一体となり支援しようと立ち上がりましたが、この会場で「心を1つにし(TOGETHER)行動しよう(TAKE ACTION)」というロータリーのビジョンの一端を体験することができ、感動の瞬間でした。翌日、マッキナリーRI会長エレクトは、ウクライナのための災害救援基金への寄付が1,500万ドル(約20億円)に達したことに感謝の意を述べました。今年の3月から4月末までの僅か2ヵ月間で、これ程の多額の寄付が集まるロータリーの世界的ネットワークの凄さを、改めて認識いたしました。



9月にガバナーエレクト研修セミナー(GETS)が開催され、ロータリー財団管理委員の三木明氏が次の様に挨拶されました。「多くの方々にウクライナ支援のためにご寄付をいただいておりますが、その中のあるロータリアンの方をご紹介します。九州(福岡)の方で、4月にウクライナのための災害救援基金のことを知り、直ぐに25万ドルを寄付していただき、アーチ・クランフ・ソサエティ(AKS)の会員になりました。円に換算しますと3,000万円以上となり、それも全額、その基金の寄付へ指定されました。心より感謝申し上げます。」為替レートは3月が1ドル116円、4月には122円と急激に円安に向かった時でしたが、その様な事は意とせず、ウクライナ救援のためご寄付をされました殊勝なロータリアンに頭が下がる思いでした。



F1日本グランプリ会場に集まれ!

— 会員のために友愛の広場を開設 —

鈴鹿バイロータリークラブ

2022年F1日本グランプリが10月7～9日、3年ぶりに鈴鹿サーキットに帰ってきます。今回も会場内にロータリアン専用ブース「友愛の広場 in SUZUKA」を開設します。観戦の合間の休息場所として、また全国各地から来場するロータリアンとの交流の場としてお気軽にご利用ください。

- 日時 10月7日(金)～9日(日) 各日10時～16時
- 場所 鈴鹿サーキット園内 ホテルゲート付近
- お問い合わせ

鈴鹿バイロータリークラブ事務局

office@suzukabay-rc.org

<http://www.suzukabay-rc.org>

ヨット、ボート好き集まれ

IYFR東京フリート 猿渡昌盛

RI公認のヨットの親睦活動グループ・IYFR(International Yachting Fellowship of Rotarians)は、ヨットや海が好きなロータリアンの親睦会です。今回、国内で七つ目となる、東京フリートの認証伝達式が東京夢の島マリナにて行われました。東京フリートは東京湾や相模湾に面したマリナを母港とする、ヨットやパワーボートのオーナーや、海や船が好きなロータリアンを中心に設立。新しく重点分野に加わった「環境」を踏まえ、今後は沿岸清掃、海洋・淡水資源の保護と回復を目指す活動も行っていく予定です。あなたもクラブを越えた友人をつくってみませんか?

- 資格 船の所有にかかわらず海を愛する者
- 会費 入会金:2万円
(バッジ、ユニホームなどを含む)
年会費:1万円(国際登録費を含む)
- 問い合わせ先 IYFR東京フリート

梅澤武男(東京サンライズ汐留RC)

rotary@umezawa-sekkei.co.jp

第2640地区 会員数報告(2022年8月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	22.7.1	内女性	22.8月末	内女性	8月	内女性	累計	8月	内女性	累計		22.7.1	内女性	22.8月末	内女性	8月	内女性	累計	8月	内女性	累計
串本	6	1	6	1	0	0	0	0	0	0	松原	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0
那智勝浦	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	松原中	24	3	24	3	0	0	0	0	0	0
新宮	49	2	50	2	0	0	1	0	0	0	美原	5	1	4	1	0	0	0	1	0	1
白浜	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	大阪狭山	8	0	8	1	0	0	0	0	0	0
田辺	83	3	84	3	1	0	1	0	0	0	太子	17	1	17	1	0	0	0	0	0	0
田辺東	37	3	37	3	0	0	0	0	0	0	富田林	34	0	34	0	0	0	0	0	0	0
田辺はまゆう	27	5	31	6	0	0	4	0	0	0	泉佐野	19	0	21	0	0	0	2	0	0	0
有田	26	1	26	1	0	0	0	0	0	0	貝塚	14	1	14	1	0	0	0	0	0	0
有田南	23	1	24	1	0	0	1	0	0	0	貝塚コスモス	11	3	11	3	0	0	0	0	0	0
有田2000	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	関西国際空港	17	1	17	1	0	0	0	0	0	0
御坊	39	3	39	3	0	0	0	0	0	0	岸和田	31	1	32	1	1	0	2	0	0	0
御坊東	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0	岸和田東	39	6	40	6	0	0	1	0	0	0
御坊南	15	6	15	6	0	0	0	0	0	0	岸和田南	7	0	7	0	0	0	0	0	0	2
海南	9	0	8	0	0	0	0	0	0	0	KUMATORI向日葵	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0
海南東	40	5	44	7	0	0	4	0	0	0	りんくう泉佐野	16	3	16	3	0	0	0	0	0	0
海南西	16	1	16	1	0	0	0	0	0	0	羽衣	15	1	15	1	0	0	2	1	0	1
Rotary E-Club Sunrise of Japan	7	2	7	2	0	0	0	0	0	0	和泉	22	0	22	0	0	0	0	0	0	0
和歌山	73	1	75	1	1	0	2	0	0	0	泉大津	44	3	44	3	0	0	1	0	0	0
和歌山アゼリア	28	9	28	9	0	0	0	0	0	0	和泉南	57	2	57	2	0	0	0	0	0	0
和歌山東	42	0	49	0	0	0	7	0	0	0	大阪金剛	13	1	12	1	0	0	0	0	0	1
和歌山城南	37	1	37	1	0	0	0	0	0	0	高石	24	1	24	1	1	0	1	0	0	0
和歌山中	21	0	21	0	0	0	0	0	0	0	高師浜	11	1	11	1	0	0	0	0	0	0
和歌山北	29	1	32	1	0	0	3	0	0	0	堺	39	4	41	4	0	0	2	0	0	0
和歌山南	70	4	74	6	0	0	4	0	0	0	堺東	16	2	16	2	0	0	0	0	0	0
和歌山東南	35	5	35	5	0	0	0	0	0	0	堺泉ヶ丘	23	3	23	0	0	0	0	0	0	0
和歌山西	9	1	9	1	0	0	0	0	0	0	堺中	20	3	20	3	0	0	0	0	0	0
橋本	45	0	46	0	0	0	1	0	0	0	堺北	29	1	29	1	0	0	1	0	0	0
岩出	23	1	24	1	0	0	1	0	0	0	堺おおいずみ	26	3	26	3	0	0	0	0	0	0
河内長野高野街道	17	3	18	3	0	0	1	0	0	0	堺フェニックス	6	2	6	2	0	0	0	0	0	0
粉河	16	1	16	1	0	0	0	0	0	0	堺清陵	22	4	22	4	0	0	0	0	0	0
高野山	16	0	16	0	0	0	0	0	0	0											
羽曳野	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	ワールド大阪 ロータリーEクラブ	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0
河内長野	20	4	20	4	0	0	0	0	0	0											
河内長野東	21	1	21	1	0	0	0	0	0	0	計	1,578	119	1,611	122	4	0	42	2	0	5



クラブ数	2022年7月1日 会員数				2022年8月末 会員数				8月入会		8月退会		増減	
65	男性	1,459	女性	119	男性	1,489	女性	122	男性	4	女性	0	男性	2
	1,578				1,611				4		2		2	

クラブを成功に導く 会員増強

みんなを温かく受け入れるクラブづくりを！

2022-2023 年度 国際ロータリー第2640地区

MY ROTARY 登録状況 [2022年9月26日現在]

2640地区	会員数	登録人数	登録率
2022年9月26日	1,614	701	43.43%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
串本	6	1	16.7%
那智勝浦	11	3	27.3%
新宮	50	16	32.0%
白浜	10	6	60.0%
田辺	85	50	58.8%
田辺東	37	10	27.0%
田辺はまゆう	31	10	32.3%
分区計	230	96	36.3%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
Rotary E-club Sunrise of Japan	8	7	87.5%
和歌山	75	52	69.3%
和歌山アゼリア	28	7	25.0%
和歌山東	50	34	68.0%
和歌山城南	37	10	27.0%
和歌山中	21	6	28.6%
和歌山北	32	16	50.0%
和歌山南	74	14	18.9%
和歌山東南	35	11	31.4%
和歌山西	9	1	11.1%
分区計	369	158	41.7%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽曳野	10	2	20.0%
河内長野	20	20	100%
河内長野東	21	2	9.5%
松原	14	8	57.1%
松原中	24	7	29.2%
美原	5	0	0.0%
大阪狭山	8	6	75.0%
太子	17	11	64.7%
富田林	34	20	58.8%
分区計	153	76	46.0%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽衣	15	9	60.0%
和泉	22	5	22.7%
泉大津	44	19	43.2%
和泉南	57	8	14.0%
大阪金剛	12	10	83.3%
高石	25	10	40.0%
高師浜	11	8	72.7%
分区計	186	69	48.0%

目標達成 **13クラブ**

100% 達成クラブ

貝塚ロータリークラブ

河内長野ロータリークラブ

2022-2023年度

登録率目標

65%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
有田	26	14	53.8%
有田南	24	3	12.5%
有田2000	15	9	60.0%
御坊	38	14	36.8%
御坊東	14	7	50.0%
御坊南	15	5	33.3%
海南	8	5	62.5%
海南東	44	33	75.0%
海南西	16	1	6%
分区計	200	91	43.4%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
橋本	46	4	8.7%
岩出	24	7	29.2%
河内長野高野街道	18	10	55.6%
粉河	15	9	60.0%
高野山	16	9	56.3%
分区計	119	39	41.9%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
泉佐野	21	9	42.9%
貝塚	14	14	100%
貝塚コスモス	11	7	63.6%
関西国際空港	17	4	23.5%
岸和田	32	8	25.0%
岸和田東	40	25	62.5%
岸和田南	7	1	14.3%
KUMATORI向日葵	8	4	50.0%
りんくう泉佐野	16	7	43.8%
分区計	166	79	47.3%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
堺	41	12	29.3%
堺東	16	13	81.3%
堺泉ヶ丘	23	6	26.1%
堺中	20	5	25.0%
堺北	29	10	34.5%
堺おおいづみ	26	15	57.7%
堺フェニックス	6	5	83.3%
堺清陵	22	21	95.5%
分区計	183	87	54.1%

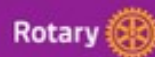
クラブ名	会員数	登録人数	登録率
ワールド大阪 ロータリーEクラブ	8	6	75.0%

10月の行事予定表

日 付	行 事	場 所
2(日)	クラブ青少年関連委員長会議	ZOOM
8(土)	ガバナー補佐・幹事合同会議	けやきONE401
	ガバナー月信編集会議	ガバナー事務所
9(日)	第2回派遣候補生オリエンテーション	けやきONE401
18(火)	地区大会記念ゴルフ大会	有田東急ゴルフクラブ
22(土)～23(日)	第11回日本ロータリー学友会全国総会	鎌倉パークホテル(ZOOM可)、覚園寺
22(日)～23(日)	米山記念奨学委員会・奨学生 研修旅行	紀三井寺、アドベンチャーワールド他
23(日)	IACリーダーシップフォーラム	未定
29(土)	地区ローターアクト運動会	てんとう虫パーク



つながりを築いて、世界に変化をもたらそう



ガバナー月信の表紙写真、活動の情報をお寄せください。

ガバナー月信は、地区と地区内クラブの情報交流を促進し、各クラブの運営、活動に活かしてもらうため、情報収集に努めています。皆様のご協力をお願いします。

お寄せいただける活動情報は、文書面、資料、写真をメールでガバナー事務所へご送付ください。また、毎号の表紙写真もご提供ください。

ガバナー月信は、国際ロータリー、地区、クラブの情報をとりまとめ、掲載情報の収集等、紙面の充実に努めてまいります。皆様のご協力をお願いします。

地区IT・ガバナー月信委員会

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

国際ロータリー

第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室

TEL (073) 426-2640

FAX (073) 426-2660

e-mail : morimoto@rid2640g.com

JR和歌山駅西口から徒歩7分

阪和道、和歌山インターから約10分

